

市立川西病院に関するアンケート調査について

市民の皆様には、日頃から市政に対し、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、市立川西病院は、昭和58年に中央町から現在の東畦野地内に移転し、診療科目も内科、外科、整形外科、小児科、産婦人科、耳鼻いんこう科、眼科、泌尿器科、麻酔科、放射線科を開設するなど、本市の基幹的な公的医療機関としての役割を担ってきました。

しかし、地域住民の医療に対するニーズが多様化してきている一方で、医師不足などにより診療体制を縮小せざるを得ない状況となってきたことから、平成21年には「市立川西病院事業経営改革プラン」を策定し、地域医療連携室や消化器内視鏡センターの開設をはじめとする経営の効率化を図ってきたところですが、その後も、医師数に大幅な減員が生じたことにより、入院及び外来患者数が大きく減少し、経営は非常に厳しい状況が続いています。また、平成23年には、改革プランの改定も行い経営効率化への努力を続けていますが、市からの補助金も年々増加しており、病院の経営は深刻な赤字状態が続いています。さらに、現在の市立川西病院は、建設以来29年が経過し、施設や設備の経年劣化や老朽化が進んでおり、今後、多様化する医療需要や医療サービスへの対応が困難となってきたことから、現在、市立川西病院のあり方の検討を進めています。

つきましては、市立川西病院の今後の方針を決定するにあたり参考とさせていただきたくアンケートを実施いたしますので、ご協力をお願いします。

なお、この調査は川西市の住民基本台帳から16歳以上の市民3,000人を無作為に抽出し、調査票を郵送させていただきました。

この調査は無記名によるほか、調査の目的以外には使用いたしませんので、よろしくお願いたします。

平成24年11月27日

川西市長 大塩 民生

<ご記入にあたってのお願い>

- このアンケートは、送付させていただいた**ご本人**が、過去又は現在、市立川西病院を利用されている、利用されていないにかかわらずお答えください。
- なお、ご本人にお答えいただくことが困難な場合は、ご家族の方がご本人のことやお考えについてご記入いただいても結構です。
- 回答は、あてはまる番号に をつけてください。また()内には具体的な内容のご記入をお願いします。
- この調査票は、**両面印刷**になっています。ご記入漏れのないようご注意ください。
- ご記入後は、同封の返信用封筒に入れて、12月17日(月)までに、郵便ポストに投函してください。(切手は不要です)
- この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

(問い合わせ先) アンケート調査に関すること
川西市 総合政策部 政策課
TEL 072-740-1120

病院経営・診療に関すること
市立川西病院 経営企画室
TEL 072-794-2321

市立川西病院に関するアンケート調査

問1 あなたは過去に「健(検)診・人間ドック」以外の理由で入院や病院探しを(ご家族等のためも含む。)したことがありますか。当てはまる番号**いずれか1つに**印をつけてください。

1. 入院したことがある 2. 入院はしていないが病院を探したことがある 3. 該当なし

問2-A 現在、川西市には、市立川西病院・民間病院・診療所(個人医院)があり、川西市周辺にも病院がいくつかあります。仮にあなたが次のような状況になった場合に受診したいと思う医療機関を選んで、当てはまる所に**1ヶ所ずつ✓印を入れてください**。

	市立川西病院	市内の民間病院	市内の診療所 (個人医院)	市外の医療機関	わからない
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 1項目につき1ヶ所 ✓して下さい </div>					
記入例 健康や病気について気軽に相談したい時			<input checked="" type="checkbox"/>		
健康診断や人間ドックなどを受診したい時					
出産を迎えた時					
子供が病気をした時					
夜間の急病や交通事故にあった時					
入院を伴う手術を受ける時					
リハビリを受ける必要がある時					
長期にわたる入院が必要となった時					
訪問看護や往診など在宅医療の支援が必要な時					
命にかかわるような病気になった時 (がん、心疾患、脳血管疾患など)					
がんなどで末期を迎えた時					
健康や病気についての相談、予防、治療、疾病管理など総合的なサービスを受けたい時					

問2-B 上記 ~ で、医療機関を選ぶ際に特に重視している点があれば、その番号と理由をお書きください。(無ければ記入は不要です)

該当する番号	理 由
(例)	(例)手術前説明をしっかりともらえる事

ここからは、市立川西病院についてお聞きします。

問3-A 川西市に市立川西病院（川西市東畦野・能勢電鉄山下駅徒歩15分）があるのをご存知でしたか？ 当てはまる番号に 印をつけてください。

- 1. 知っていた 問3-Bへ
- 2. 聞いた事がある程度 問4へ
- 3. このアンケートで知った 問4へ

問3-B 「知っていた」と回答された方にお聞きします。市立川西病院を利用されたことはありますか。

- 1. ご本人またはご家族が利用したことがある。 問3-Cへ
- 2. 利用したことはない。 問4へ
- 3. 覚えていない。 問4へ

問3-C 問3-Bで「1」を回答された方にお聞きします。病院には主としてどのような交通手段で来られましたか。番号1つを選んで を付けてください。

- 1. 主に自家用車（ご本人またはご家族が運転）
- 2. 主に公共交通機関（電車、バス、タクシー）
- 3. 主に徒歩（自転車含む）

問4 市立川西病院を利用されたことがある方はその時の経験をもとに、そうでない方は評判やイメージをもとに、次の項目を5段階で評価し、該当すると思われる番号に 印をつけてください。

	そう 思う	そう まあ 思う	ど ち ら も な い	あ ま り そ う 思 わ な い	思 わ な い そ う	わ か ら な い
交通の便が良い	5	4	3	2	1	0
診療日や診療時間が利用しやすい	5	4	3	2	1	0
待ち時間が短い	5	4	3	2	1	0
医療機器や検査機器が充実している	5	4	3	2	1	0
医師の医療技術が高い	5	4	3	2	1	0
患者の立場で考えてくれる病院である	5	4	3	2	1	0
救急医療が充実している	5	4	3	2	1	0

裏面に続く

	5 4 3 2 1 0	4 3 2 1 0	3 2 1 0	2 1 0	1 0	0
難しい手術などを行っている	5	4	3	2	1	0
なんでも診てもらえる	5	4	3	2	1	0
専門性の高い病院である	5	4	3	2	1	0
ゆったり療養できる	5	4	3	2	1	0
気軽に診てもらえる	5	4	3	2	1	0
親切に世話をしてくれる病院である	5	4	3	2	1	0
他の医療機関との連携が良い	5	4	3	2	1	0
健康や病気について気軽に相談できる	5	4	3	2	1	0
全体的にみて、利用したい病院である	5	4	3	2	1	0

問5 市立川西病院は、今年で築29年となることから、今後10年以内に建て替えの必要性が想定されています。(建て替えの場合は川西市から多額の補助金が必要となります。)
 今後の市立川西病院のA.必要性、B.立地(継続の場合)、C.規模・診療科(継続の場合)について、それぞれ望ましいと思われる番号1つに印をつけてください。

A.必要性	B.立地 (継続の場合)	C.規模・診療科 (継続の場合)
1. 継続 (B. C.へ)	1. 北部 (現在地)	1. 拡大する
2. 廃止 (問6へ)	2. 北部 (現在地以外)	2. 現状維持
3. 民間に譲渡 (問6へ)	3. 中部	3. 縮小する
4. わからない (問6へ)	4. 南部 (JR線以北)	4. わからない
	5. 南部 (JR線以南)	
	6. わからない	

北部・中部・南部の地域分けは、5ページの小学校区エリアを参考にしてください。

問6 市立川西病院に、特に期待する機能・役割や充実してほしい分野には具体的にどのようなものがあるでしょうか。下記の中から5つ以内で選び、該当する番号に 印をつけてください。

1. 病気の予防や早期の発見に力を入れる（健康診断や人間ドックなどの充実）
2. 母子の健康管理や出産に対応してもらえる
3. 子供の病気に対応できる
4. 夜間救急や交通事故などの救急患者を積極的に受け入れる
5. 入院を伴う手術などが行える
6. 手術など重度な状態を脱した後、リハビリや療養などを行う
7. 長期にわたる入院が必要となった場合に入院できる
8. 訪問看護や往診など在宅医療の支援を行う
9. 命に関わるような病気の患者が入院できる
10. がんなどで末期を迎えた患者・ご家族の方々に安心できる療養環境を提供できる
11. 健康や病気についての相談、予防、治療、疾病管理など総合的なサービスを受けられる
12. かかりつけ医と連携して、地域の医療水準の向上に貢献できる
13. 介護施設等の施設を併設している
14. 特になし

問7 その他、市立川西病院に対するご意見やご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

問8 ご意見をお聞きするのはこれで終わりですが、統計的分析に必要なため、該当する番号に 印をつけてください。

(1) あなたの性別	1. 男性	2. 女性	
(2) あなたの満年齢	1. 16～29歳	2. 30～39歳	3. 40～49歳
	4. 50～59歳	5. 60～69歳	6. 70～79歳
	7. 80歳以上		

(3) あなたのお住まいのエリア(下表参照)	1. 北部 2. 中部 3. 南部 4. わからない() わからない場合は住所を記入してください()
(4) あなたのご家庭では、自動車を保有していますか。(いずれか1つに印をつけてください。)	1. 保有している(自分で運転する) 2. 保有している(自分は運転せず、家族だけが運転する) 3. 保有していない

エリア名	小学校区	該当地区
北部	東谷	見野1丁目～3丁目、東畦野1丁目～6丁目、東畦野山手1丁目・2丁目、西畦野1丁目・2丁目、山原1丁目・2丁目、緑が丘1丁目・2丁目、山下町、笹部1丁目～3丁目、下財町、一庫1丁目～3丁目、東畦野(長尾を除く。)、西畦野、山原、山下、笹部、一庫
	牧の台	大和東1丁目～5丁目、大和西1丁目～5丁目、東畦野字長尾、長尾町
	北陵	美山台1丁目～3丁目、丸山台1丁目～3丁目
	黒川	国崎、黒川、横路
中部	多田	新田、矢問1丁目～3丁目、矢問東町、西多田(明峰小学校区を除く。)、西多田1丁目(1番・2番を除く。)、西多田2丁目、多田院(清和台南小学校区を除く。)、新田1丁目～3丁目、多田院1丁目・2丁目、多田院多田所町、多田院西1丁目、多田院西2丁目(5番を除く。)
	多田東	東多田、平野、鼓が滝1丁目～3丁目、東多田1丁目～3丁目、多田桜木1丁目・2丁目、平野1丁目～3丁目
	緑台	緑台1丁目～5丁目、緑台7丁目、向陽台1丁目・2丁目
	陽明	緑台6丁目、向陽台3丁目、水明台1丁目～4丁目、清流台
	清和台	石道、虫生、赤松、清和台東1丁目～3丁目、清和台西1丁目・2丁目
	清和台南	柳谷、清和台東4丁目・5丁目、清和台西3丁目～5丁目、多田院字滝ヶ原・駒塚・井戸ヶ上、多田院西2丁目5番
	けやき坂	芋生、若宮、けやき坂1丁目～5丁目
明峰	滝山町8番、萩原2丁目・3丁目、萩原台東1丁目・2丁目、萩原台西1丁目～3丁目、鶯が丘、西多田字上平井田・湯山裏・南野山、西多田1丁目1番・2番、錦松台、鶯台1丁目・2丁目、湯山台1丁目・2丁目、南野坂1丁目・2丁目	
南部	久代	久代1丁目～6丁目、東久代1丁目・2丁目
	加茂	南花屋敷1丁目～4丁目、加茂1丁目～6丁目
	川西	小花1丁目・2丁目、小戸1丁目～3丁目、栄町24番～27番、寺畑1丁目・2丁目、栄根1丁目・2丁目、下加茂1丁目・2丁目
	桜が丘	中央町、日高町、栄町(24番～27番を除く。)、花屋敷山手町、花屋敷1丁目・2丁目、満願寺、満願寺町
	川西北	美園町、絹延町、出在家町、丸の内町、滝山町(8番を除く。)、鶯の森町、萩原1丁目、火打1丁目・2丁目、松が丘町、霞ヶ丘1丁目・2丁目

アンケートは以上です。誠にお手数をおかけしますが、**同封の返信用封筒に本アンケート用紙を折り込み、ご投函ください。** ご協力ありがとうございました。

～アンケートを始める前にお読みください～

市立川西病院の現状と川西市の財政状況について

(1) 市立川西病院の現状

市立川西病院の役割

市立川西病院は、本市の基幹的な公的医療機関として、地域住民の医療ニーズに応えるべく、救急医療、小児医療、周産期（妊娠・分娩）医療などの不採算・特殊部門に関わる医療の提供を行うなど、公立病院としての役割を果たしています。また、当院の位置する市北部においては、200床以上の一般病院がほかになく、当院は、市北部エリア及び本市に隣接する猪名川町、能勢町、豊能町の入院機能提供の中心的役割を担っています。

1) 施設概要

所在地	川西市東畦野5丁目21番1号		
開設年月日	昭和58年10月4日		
敷地面積	14,936.06㎡		
建物	病院本館	地上5階/地下1階	14,540.10㎡
	看護宿舎・保育園	地上5階	1,491.73㎡
	医師住宅	地上2階	317.84㎡

2) 診療科 内科(循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科)、小児科、外科、整形外科、産婦人科、耳鼻いんこう科、眼科、泌尿器科、麻酔科、放射線科

3) 病床数 250床(一般 229床、緩和ケア 21床)

4) 病棟	3階北	35床(産婦人科、眼科、内科、未熟児・新生児室)
	3階南	44床(小児科、眼科、内科)
	4階北	50床(病棟休床)
	4階南	49床(外科、泌尿器科、内科)
	5階北	21床(H25/1～緩和ケア)
	5階南	51床(内科)

5) 平成23年度末職員数 合計283名

医師	: 37名
看護師(助産師、看護師、准看護師)	: 165名
医療技術職員(診療放射線・臨床検査技師他)	: 49名
事務職員(経営企画課、医事課、地域医療連携室)	: 22名
技能労務員(施設管理員、調理師)	: 2名
保育士、相談員、診療情報管理士	: 8名

※上記職員数には、嘱託・臨時職員数を常勤換算した数値を含みます。

川西市周辺の医療機関の状況



川西市	
1	市立川西病院
2	協立温泉病院
3	ペリタス病院
4	協立病院
5	第二協立病院
6	自衛隊阪神病院
宝塚市	
7	こだま病院
8	東宝塚さとう病院
9	宝塚第一病院
10	宝塚市立病院
11	宝塚病院

伊丹市	
12	市立伊丹病院
13	近畿中央病院
池田市	
14	市立池田病院
箕面市	
15	ガラシア病院
16	巽今宮病院
17	箕面市立病院

■ 市立川西病院
● 他病院
 一般病床を保有する総病床数100床以上の病院を掲載しています

地域住民の医療に対するニーズが多様化してきている一方で、当院が提供する医療資源は、医師の退職が相次ぎ、診療体制を縮小せざるを得ない状況となっています。現在、近年の診療報酬のマイナス改定や、医師不足などにより収入が落ち込み、慢性的な赤字体質となっています。

病院の経営の建て直しを図るべく、平成 21 年に病院事業経営改革プランを作成し、改革に取り組みましたが、その後も医師の退職が続き、入院及び外来患者数が大きく減少しています。平成 23 年には、改革プランの改定も行い経営効率化への努力を続けていますが、市からの補助金も年々増加しており、病院の経営は深刻な赤字状態が続いています。さらに、現在の市立川西病院は、建設以来 29 年が経過し、施設や設備の経年劣化や老朽化が進んでおり、今後、多様化する医療需要や医療サービスへの対応が困難となってきます。

市立川西病院の患者数及び病床利用率

市立川西病院の患者数は、過去 3 年間で減少傾向にあります。また、平成 21 年度当初から内科、外科、耳鼻いんこう科の医師が退職し、続いて、平成 22 年度及び 23 年度には整形外科の医師が退職しています。

	H21 年度	H22 年度	H23 年度
1 日あたり外来患者数	609 人	557 人	488 人
1 日あたり入院患者数	164 人	158 人	137 人
許可病床数*	283 床	283 床	283 床
運用病床数**	201 床	201 床	164 床
病床稼働率（運用）	82%	79%	84%

*許可病床数：保有しているベッド数

**運用病床数：看護師等の配置があるベッド数

市からの補助金の状況

毎年度、9億円を超える補助金を市の一般会計（教育や福祉などを行う基本的な市民サービスの会計のこと。以下同じ）から繰り入れています。

平成23年度の繰入金総額は11億1,758万円で、前年度に比べ1億2,084万円(12.1%)増加しています。収益的収入分は、主に救急医療態勢経費1億7,300万円、小児医療経費1億3,700万円、周産期医療経費1億3,300万円、医師確保対策経費1億1,400万円などに充てており、資本的収入分は、企業債償還元金2億9,052万円、建設改良費3,000万円に充てています。

	H21年度	H22年度	H23年度
収益的収入分	6億9,438万円	7億2,005万円	7億9,705万円
資本的収入分	2億7,051万円	2億7,668万円	3億2,052万円
繰入金総額	9億6,490万円	9億9,673万円	11億1,758万円

市立川西病院の経営状況

現在、市立川西病院に限らず、病院経営は厳しい環境に置かれています。とりわけ、公的病院は、救急医療や小児医療などのいわゆる政策医療のほか、不採算の医療を抱えているため、大部分の公的病院が赤字となっています。市立川西病院においても、長年にわたり赤字経営が続いています。市立川西病院は、市から毎年度補助金を受けていますが、それでもなお、赤字額は毎年3～4億円を計上しています。

なお、現在の累積欠損金（累積赤字）は、平成23年度の赤字額3億7,592万円を加え、65億7,786万円になっています。

	H21年度	H22年度	H23年度
総収益（A）	42億6,338万円	43億5,995万円	41億2,537万円
総費用（B）	46億9,061万円	47億2,008万円	45億129万円
差引損益(A)-(B)	4億2,723万円	3億6,013万円	3億7,592万円

市立川西病院の施設・設備の状況

病院は建設以来29年が経過し、今後も使用し続けるのであれば、建物・設備の老朽化に伴い10年以内には大規模な改修工事が必要と想定されます。改修工事にかかる費用も毎年の補助金に加えて、市からの負担で賄うことになります。

また、仮に建て替えを行った場合の建築費用（医療機器費を含み、用地費は除く。）は、現在の病床数250床で試算すると約90億円（近隣の自治体病院整備試算単価35,963千円/床で算出）となります。

（2）川西市の財政状況について

平成23年度の決算は、一般会計では基金（特定の目的のために積み立てや運用をしている資金。以下同じ）から繰り入れを行った結果、実質収支額が3億7,375万1千円の黒字となり、平成22年度と比較すると1億22万円の減となっています。

また、特別会計は6事業合計で5億2,826万6千円の赤字となっていますが、このうち、国民健康保険事業が7億717万9千円の赤字となっています。

一方、中期財政収支計画（平成24年11月現在）では、平成24年度以降は、納税対象とな

る人口の減少により、個人市民税の減収が続く、歳出においては、社会保障経費の増加や、公債費の増加による負担が大きく、借り換えによる公債費負担平準化や、地方債発行などによる学校耐震化の負担の平準化を行っても、平成25～29年度の5年間で49億600万円の収支不足が見込まれます。

これらの財源不足を補うため、行財政改革を実行していくこととしていますが、収支均衡を図るためには、毎年度、基金の繰り入れが必要な状況となっています。

公債費とは、市が公共施設を整備するためなどに借り入れたお金（市債）の元利償還費と一時借入れ金の利息の合計をいいます。

平成23年度(2011年度)決算総括表

(単位:千円)

区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出 差引額	翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支額	22年度実質収 支額	増減	
	(A)	(B)	(C) = (A) - (B)	(D)	(E) = (C) - (D)	(F)	(G) = (E) - (F)	
会計								
一般会計	47,608,391	47,219,642	388,749	14,998	373,432 373,751	473,464 473,971	100,032 100,220	
特別会計	国民健康 保険事業	16,475,447	17,182,626	707,179	0	707,179	679,932	27,247
	後期高齢者 医療事業	2,008,410	1,962,643	45,767	0	45,767	70,796	25,029
	農業共済 事業	11,838	11,838	0	0	0	0	0
	介護保険 事業	9,177,913	9,044,767	133,146	0	133,146	184,455	51,309
	用地先行 取得事業	2,425,387	2,425,387	0	0	0	0	0
	中央北地区土 地区画整理事業	1,768,451	1,747,024	21,427	21,427	0	0	0
	特別会計 合計	31,867,446	32,374,286	506,840	21,427	528,266	424,681	103,585
一般・特別 合計	79,475,837	79,593,928	118,091	36,425	154,834 154,515	48,783 49,290	203,617 203,805	

(注) 23年度一般会計実質収支額上段は、翌年度に返還する災害援護資金貸付金(阪神・淡路大震災の被災者への貸付金)返還金(319千円)を除いた実質収支額である。

(注) 表内において、各項目の合計と合計欄の数値が端数処理により一致しない場合がある。(以下の表についても同じ)

中期財政収支計画での収支不足額

(単位:百万円)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	合計
歳入総額	31,977	32,319	32,327	32,487	32,584	161,694
歳出総額	33,628	33,617	33,401	32,851	33,103	166,600
収支不足額	-	1,651	1,298	364	519	4,906

以上